

交通事業者・地方公共団体 ヒアリング結果【要旨】

1. 「幹線ネットワークの整備・活用」関係	P. 1
2. 「都市交通の改善」関係	P. 3
3. 「地方交通の維持・整備」関係	P. 4
4. 「環境に優しい交通体系の整備」関係	P. 6
参考1 ヒアリング質問票	P. 8
参考2 ヒアリング先一覧	P. 11

【調査概要】

東北運輸局管内の交通事業者及び地方公共団体を対象にヒアリング調査を実施した。

- ・調査日：平成16年7～8月
- ・ヒアリング質問票は、[参考1](#)のとおり。ヒアリング対象者は、[参考2](#)のとおり。

【ヒアリング結果（要旨）】

1. 「幹線ネットワークの整備・活用」関係

「新幹線」関係

東北新幹線：JRで高速化を検討中

いわゆる「ミニ新幹線」：

- ・山形新幹線：JR・地元自治体等で延伸、高速化について調査・検討中
- ・秋田新幹線：高速化に向けた検討を開始する予定

「鉄道在来線」関係

輸送力増強等の要望のある路線あり、一部調査・検討が進められているものも
(調査・検討が行われているもの(例)：仙山線、羽越線、奥羽線)

[課題：財源、採算性]

「新幹線駅・空港からの二次交通(バス・タクシー)」関係

新規整備が必要と考えられる路線：

- ・「観光需要」に対応するための路線
- ・東北新幹線新青森延伸時に、新幹線新駅にアクセスする路線

維持が困難(需要が低迷している)な路線：

- ・空港にアクセスする路線バスについては、既存路線のうち、約半数の具体的路線名があげられた
また、仙台空港にアクセスする路線バスについては、仙台空港アクセス鉄道の開業(平成18年度の予定)に伴い、見直しが不可避とのこと
- ・新幹線駅にアクセスする路線バスについて、具体的路線名があがったものは、主に、「停車本数の少ない駅から発着するもの」
「東北新幹線盛岡～八戸開業の影響を受けたもの」

取り組むべき施策：

- ・多様な関係者（地元交通事業者、ＪＲ・航空会社、観光関係事業者・団体、地方公共団体）が連携した需要喚起策
具体例・・・「新幹線・航空＋バス・タクシー＋宿泊のパック商品の開発」
「観光地と地元交通機関の強力なＰＲ」
- ・需要に応じた供給形態の変更
具体例・・・「ルートの見直し」（宿泊施設を網羅するなど）
「ダイヤの見直し」（航空の到着時刻に合わせるなど）
「乗合タクシー等への転換」

「新幹線駅・空港からのレンタカーの利用促進」関係

取り組むべき施策

- ・利便性向上策：複数のレンタカー事業者による共同カウンター設置など
- ・需要喚起策：ＪＲ・航空会社・観光事業者等と連携によるパック企画商品づくりなど

「高速バス」関係

新規整備の可能性のある（又は、必要があると考えられる）路線：

- ・首都圏方面
- ・仙台方面
- ・県庁所在地等主要都市間を結ぶもので現在路線がないもの

[課題： バス車両購入等の財源、採算性、共同運行会社の確保、道路整備]

取り組むべき施策：

- ・多様な関係者（バス事業者、観光関係事業者・団体、地方公共団体）が連携した需要喚起策
具体例・・・「高速バス＋宿泊のパック商品の開発」
「観光地と地元交通機関の強力なＰＲ」
- ・利便性向上策
具体例・・・「バスターミナルの活用・整備」
「Ｐ＆ＢＲ（パークアンドバスライド）用駐車場の整備（高速バス発着所付近に、高速バス利用者用の駐車場を整備）」
「路線バス等との乗継改善・乗継割引の導入」
「割安感のある運賃設定」
「販売ネットワークの拡大（コンビニの活用等）」

2. 「都市交通の改善」関係

「鉄道」関係

現状・問題点

- ・輸送人員は減少傾向
要因は、マイカー利用の増大、集客施設（大型商業施設）の郊外への拡散など

取り組むべき施策

- ・利便性向上策
具体例・・・「新駅整備」（都市部で駅間距離の長い地点等に）
「駅前広場整備」
「バスとの結節改善」
- ・需要喚起策
具体例・・・「駅の集客機能強化」（交流拠点施設の併設、商業施設の誘致）

「バス」関係

現状・問題点

- ・輸送人員は減少傾向
最大の要因は、マイカーとの混在による定時性・速達性の低下

取り組むべき施策

- ・定時性・速達性向上策
具体例・・・「バス専用レーンの設置」
「PTPS（公共車両優先システム）整備」
「マイカー規制と合わせたシャトルバスの運行」
[課題：交通事業者等の関係者の理解。また、住民の盛り上がりが必要]
- ・利便性向上策
具体例・・・「路線見直し（より分かりやすく、使いやすいものへ）」
「バスロケーションシステムの整備」
「運賃の見直し」
「鉄道との結節改善」

「タクシー関係」

現状・問題点

- ・需要の低迷と自由化（参入規制の緩和）による競争激化

取り組むべき施策

- ・新たなサービスの提供

具体例・・・「乗合タクシーの導入」

「運賃の見直し（遠距離割引の拡充・閑散時間帯の割引など）」

[課題：乗合タクシーについては、路線バスとの競合区間に係る調整。運賃見直しについては、規制が障碍となるケースがある]

- ・路線バス等との連携（駅等から地域の拠点まで等需要の比較的多い区間をバスが、そこから先をタクシーが担うなど、タクシーを活用した都市交通体系の検討）

「バリアフリー化」

現状・問題点

- ・大きな負担。事業者・地方公共団体の負担能力にも限界
- ・周辺整備が一体的に行われないと効果が限定的
（例：バス車両・・・歩道との高さが異なると低床車両導入の効果が発揮できない）

取り組むべき施策（要望）

- ・国の支援強化
- ・駅周辺の施設や道路との一体的整備の推進
- ・利用者相互の助け合いなど、ソフト面の充実

3. 「地方交通の維持・整備」関係

地方部の交通の現状（全般）

- ・地方部における公共交通機関の利用者は、ほぼ高齢者と学生のみ
少子化等のため、地方部の公共交通機関の利用者は減少が進み、回復の要素はない
- ・マイカー社会からの脱却は非常に困難。マイカーとの共存を検討すべき

「地方鉄道」関係

現状

- ・需要縮小による収入源。それに伴う基金の減少。
- ・今後、老朽化した設備の更新が必要。そのため、維持が一層厳しくなる見込み。
- ・廃止が決定しているもの： くりはら田園鉄道
- ・今後のあり方について検討の場が設けられているもの： 秋田内陸縦貫鉄道

取り組むべき施策

- ・一層のコスト削減（人件費等。ただし、限界になりつつある）
- ・地域一体となった需要喚起策
具体例・・・「イベント列車運行等による観光需要の拡大」
「住民の支援組織の構築・マイレール意識高揚等による地元利用拡大」
- ・沿線地方公共団体の支援（情報発信による需要喚起等を含む）が不可欠

「地方部のバス」関係

取り組むべき施策

- ・一層のコスト削減（分社化等。ただし、限界になりつつある）
- ・需要に応じた運行形態への変更
具体例・・・「ルート・ダイヤの見直し」
「デマンド方式の導入」
- ・バスの環境問題や地域社会への貢献などに対する理解の増進（地方公共団体等と連携したPR）
- ・今後も、需要減が見込まれ、路線縮小は不可避
今後の地域交通のあり方について地方公共団体等とも検討が必要

「離島航路」関係

現状・問題点

- ・離島の人口減少等のため、引き続き需要減が見込まれ、一部では廃止に向けた検討が行われている
- ・また、船舶の老朽化のため、代替が必要であるが、財源的に困難

「新たな地域交通」関係

バス撤退後の代替輸送手段として導入を検討すべきもの

- ・「デマンド型乗合タクシー」(多くの事業者・地方公共団体からあげられた)
- ・「過疎地における有償ボランティア輸送」(住民ボランティアがマイカー等を用い、有償で輸送サービスを提供するもの。構造改革特区等による事例あり)
- ・廃止代替バスの成功事例

具体例・・・「路線バス撤退を機に、ルート・運賃の抜本的見直しを行ったもの」
「平日のみ運行していたものを、休日にも観光需要に適合したルートで活用したもの」

4. 「環境に優しい交通体系の整備」関係

「低公害車普及」関係

現状・問題点

- ・車両購入コストが高い
- ・CNGスタンド等燃料供給施設が不足(長距離の運行が困難)

取り組むべき施策(要望)

- ・低公害車両導入に対する国の支援の充実
- ・CNGスタンド等の整備推進

「物流部門の環境対策」

現状・課題

- ・モーダルシフト： 輸送時間・運賃の増加が避けがたい。
そのため、モーダルシフトの意義(環境面での効果)に対する荷主等の理解が不可欠。
- ・静脈物流： 各種リサイクル法の制定等により今後需要の伸びが期待できる分野(一方で、運賃は抑えられるため、収入増にはつながらないのではないか、との指摘も)

取り組むべき施策

- ・物流の効率化 : 「輸送時間の短縮」(新型鉄道車両導入等)
(具体例) 「大型コンテナへの対応」(輸送機材の整備等)
「物流ターミナルの整備」
「共同運行の実施」
- ・モーダルシフト : 「モーダルシフトの意義及び支援施策の周知」
(具体例) 「鉄道車両・駅の改善」
「港湾・貨物駅へのアクセス改善」
- ・静脈物流 : 「廃棄物輸送関係事業許可の取得推進」
(具体例) 「廃棄物輸送専用コンテナの導入」
「各種リサイクル法への対応の検討」
「リサイクルポート施策の推進」
「エコタウンプラン施策の推進」

「旅客部門の環境対策」

取り組むべき施策 (既にあげられた鉄道・バス利用促進策の以外のもの)

- ・「ノーマイカーデー」の設定
- ・観光地等におけるマイカー規制の実施

参考1

ヒアリング質問票

大項目	中項目	ヒアリング事項- 1	ヒアリング対象
幹線ネットワークの整備・活用	新幹線鉄道の整備と活用	高速化すべきと考えられる在来線はありますか。あれば、具体的路線（区間）及び検討状況をお示し下さい。また、整備に当たっての課題があれば、併せてお示し下さい。	J R 地方公共団体
		ヒアリング事項- 2	ヒアリング対象
		新幹線と在来線の接続ダイヤを改善すべきと思われる箇所はありますか。あれば、具体的な箇所をお示し下さい。また、改善に当たっての課題があれば、併せてお示し下さい。	J R 地方公共団体
		ヒアリング事項- 3	ヒアリング対象
		新幹線駅からのバス・タクシーによる二次交通を整備すべきと考えられる区間はありますか。あれば、具体的区間及び検討状況をお知らせ下さい。また、整備に当たっての課題があれば、併せてお示し下さい。	J R バス事業者 タクシー事業者 地方公共団体
		ヒアリング事項- 4	ヒアリング対象
		既存の新幹線からのバス・タクシーによる二次交通のうち、維持が困難になっている区間はありますか。あれば、具体的区間をお示し下さい。	バス事業者 タクシー事業者
		ヒアリング事項- 5	ヒアリング対象
		新幹線からのバス・タクシーによる二次交通の整備・利用促進のためには、どのような取り組みが必要とお考えですか。	J R バス事業者 タクシー事業者 地方公共団体
		ヒアリング事項- 6	ヒアリング対象
		新幹線駅からの足としてのレンタカーの利用促進策として、取り組んでいる施策、又は、取り組もうとしている施策をお示し下さい。また、取り組みに際しての課題がありましたら、併せてお示し下さい。	レンタカー事業者
		中項目	ヒアリング事項- 7
空港アクセスの改善		空港からのバス・タクシーによる二次交通を整備すべきと考えられる区間はありますか。あれば、具体的区間及び検討状況をお知らせ下さい。また、整備に当たっての課題があれば、併せてお示し下さい。	航空事業者 バス事業者 タクシー事業者 地方公共団体
		ヒアリング事項- 8	ヒアリング対象
		既存の空港からのバス・タクシーによる二次交通のうち、維持が困難になっている区間はありますか。あれば、具体的区間をお示し下さい。	バス事業者 タクシー事業者
		ヒアリング事項- 9	ヒアリング対象
		空港からのバス・タクシーによる二次交通の整備・利用促進のためには、どのような取り組みが必要とお考えですか。	航空事業者 バス事業者 タクシー事業者 地方公共団体
		ヒアリング事項- 10	ヒアリング対象
中項目	ヒアリング事項- 11	ヒアリング対象	
都市間バスネットワークの整備		今後、都市間バスを整備する予定がある、または、整備が望ましいと考えられる区間はありますか。あれば、具体的区間をお示し下さい。また、整備に当たっての課題があれば、お知らせ下さい。	バス事業者 地方公共団体
		ヒアリング事項- 12	ヒアリング対象

		都市間バスの整備・利用促進のためには、どのような取り組みが必要とお考えですか。	バス事業者 地方公共団体
	中項目	ヒアリング事項- 13	ヒアリング対象
	その他	以上ご質問させて頂いたものの他、都市間・地域間交流の促進のために必要と考えられる施策はありますか。 あれば、施策の内容と実施に当たっての課題をお示し下さい。	航空事業者 ＪＲ 民鉄事業者 バス事業者 タクシー事業者 旅客船事業者 レンタカー事業者 地方公共団体
大項目	中項目	ヒアリング事項- 14	ヒアリング対象
都市交通の改善	鉄道の整備・機能強化	都市部における鉄道の整備・利用促進のため、現在取り組まれている施策、又は、取り組むべき施策がありましたら、お示し下さい。 また、取り組みにあたっての課題があれば、お知らせ下さい。	ＪＲ 民鉄事業者 地方公共団体
	中項目	ヒアリング事項- 15	ヒアリング対象
	バス利用環境の改善	都市部におけるバスの利用環境改善・利用促進のため、現在取り組まれている施策、又は、取り組むべき施策がありましたら、お示し下さい。 また、取り組みにあたっての課題があれば、お知らせ下さい。	バス事業者 地方公共団体
	中項目	ヒアリング事項- 16	ヒアリング対象
	交通結節点の改善	都市部における交通結節点の改善のため、現在取り組まれている施策、又は、取り組むべき施策がありましたら、お示し下さい。 また、取り組みにあたっての課題があれば、お知らせ下さい。	ＪＲ 民鉄事業者 バス事業者 タクシー事業者 地方公共団体
	中項目	ヒアリング事項- 17	ヒアリング対象
	新サービスの導入	都市部における公共交通機関の利用促進のためのニューサービスとして、現在取り組まれている施策、又は、取り組むべき施策がありましたら、お示し下さい。 また、取り組みにあたっての課題があれば、お知らせ下さい。	ＪＲ 民鉄事業者 バス事業者 タクシー事業者 地方公共団体
	中項目	ヒアリング事項- 18	ヒアリング対象
	バリアフリー化の推進	バリアフリー化を進めるにあたっての課題（問題点）があれば、お示し下さい。	ＪＲ 民鉄事業者 バス事業者 タクシー事業者 地方公共団体
大項目	中項目	ヒアリング事項- 19	ヒアリング対象
地域交通の維持・整備	地方鉄道の維持・活性化	地方鉄道の利用促進・収支改善のため、現在取り組まれている施策、又は、取り組むべき施策がありましたら、お示し下さい。 また、取り組みにあたっての課題があれば、お知らせ下さい。	民鉄事業者 地方公共団体
	中項目	ヒアリング事項- 20	ヒアリング対象
	地方バスの維持・活性化	地方バスの利用促進・収支改善のため、現在取り組まれている施策、又は、取り組むべき施策がありましたら、お示し下さい。 また、取り組みにあたっての課題があれば、お知らせ下さい。	バス事業者 地方公共団体
	中項目	ヒアリング事項- 21	ヒアリング対象
	離島生活航路の維持・活性化	離島生活航路の維持のため、現在取り組まれている施策、又は、取り組むべき施策がありましたら、お示し下さい。 また、取り組みにあたっての課題があれば、お知らせ下さい。	旅客船事業者 地方公共団体
	中項目	ヒアリング事項- 22	ヒアリング対象
	交通空白地帯における「地域の足」の整備	バス路線撤退後の代替輸送手段のうち、貴社（団体）が関与しているもの、うち成功事例と考えられるものをお示し下さい。 また、それがどのような点で成功したと考えるかお知らせ下さい。	バス事業者 タクシー事業者 地方公共団体
	中項目	ヒアリング事項- 23	ヒアリング対象

	交通空白地帯における「地域の足」の整備	バス路線撤退後の代替輸送手段のうち、他社（団体）が行っているもので、注目すべきもの（実施したいと考えているもの）があれば、お示し下さい。また、どのような理由でその取り組みに注目しているかお知らせ下さい。	バス事業者 タクシー事業者 地方公共団体
大項目	中項目	ヒアリング事項- 24	ヒアリング対象
環境に優しい交通体系の整備	車両の低公害化の推進	低公害車の普及促進に当たっての課題、どのような取り組みが必要とお考えか、お示し下さい。	バス事業者 タクシー事業者 トラック事業者 地方公共団体
	中項目	ヒアリング事項- 25	ヒアリング対象
	公共交通の利用促進とマイカー利用の抑制	マイカーから公共交通へと利用を転換させる取り組みやマイカー規制などの取り組みについて、現在実施中のもの、実施しようとしているものがあれば、お示し下さい。また、実施に当たっての課題があれば、お知らせ下さい。	J R 民鉄事業者 バス事業者 タクシー事業者 地方公共団体
	中項目	ヒアリング事項- 26	ヒアリング対象
	物流体系の整備	物流事業の高度化・効率化のために、現在取り組まれている施策、又は、取り組むべき施策がありましたら、お示し下さい。また、取り組みに当たっての課題がありましたら、併せてお示し下さい。	J R 貨物 トラック事業者 通運事業者 内航海運事業者 港湾運送事業者 地方公共団体
		中項目	ヒアリング事項- 27
地球環境対策として、貨物輸送の手段として鉄道や船舶をより活用するモーダルシフトに関して、現在取り組まれている施策、又は、取り組むべき施策がありましたら、お示し下さい。また、取り組みに当たっての課題がありましたら、併せてお示し下さい。		J R 貨物 トラック事業者 通運事業者 内航海運事業者 港湾運送事業者 地方公共団体	
中項目	ヒアリング事項- 28	ヒアリング対象	
中項目	リサイクル社会の到来を受けて、廃品をリサイクル施設に輸送する静脈物流の需要が創出されると見込まれますが、この静脈物流に関して、現在取り組まれている施策、又は、取り組むべき施策がありましたら、お示し下さい。また、取り組みに当たっての課題がありましたら、併せてお示し下さい。	J R 貨物 トラック事業者 通運事業者 内航海運事業者 港湾運送事業者 地方公共団体	
大項目	中項目	ヒアリング事項- 29	ヒアリング対象
その他	現在抱える課題や事業運営上負担となっていることがありましたら、お示し下さい。また、運輸事業の発展のため、将来どのような方向に重点をおかれるのか、併せてお示し下さい。		全ヒアリング対象者
	中項目	ヒアリング事項- 30	ヒアリング対象
		以上の質問事項の他、東北地方の交通の改善のためのご提案がありましたら、お示し下さい。	全ヒアリング対象者

参考2

ヒアリング先一覧

種 別	ヒアリング対象
航空	日本航空エアシステム(株)仙台支社、全日本空輸(株)仙台支社
鉄道	東日本旅客鉄道(株)仙台支社、同盛岡支社、同秋田支社、 日本貨物鉄道(株)仙台支社、 津軽鉄道(株)、弘南鉄道(株)、十和田観光電鉄(株)、青い森鉄道(株)、秋 田内陸縦貫鉄道(株)、由利高原鉄道(株)、三陸鉄道(株)、アイジーアー ルいわて銀河鉄道(株)、仙台市交通局、山形鉄道(株)、阿武隈急行(株)、 福島交通(株)、会津鉄道(株)
バス	弘南バス(株)、十和田観光電鉄(株)、南部バス(株)、下北交通(株)、青森 市交通部、八戸市交通部 岩手県交通(株)、岩手県北自動車(株) 宮城交通(株)、仙台市交通局、ジェイアールバス東北(株) 秋田市交通局、秋田中央交通(株)、秋北バス(株)、羽後交通(株) 山交バス(株)、庄内交通(株) 福島交通(株)、常磐交通自動車(株)、会津乗合自動車(株)
タクシー	各県タクシー協会
旅客船	下北汽船(株)、唐桑汽船(株)、江島汽船(有)、網地島ライン(株)、牡鹿町、 塩竈市、酒田市 東日本フェリー(株)、川崎近海汽船(株)、大島汽船(株)、太平洋フェリ ー(株)、新日本海フェリー(株)
レンタカー	各県レンタカー協会
トラック	東北トラック協会連合会
通運	東北地方通運協会
内港海運	東北内航海運組合
港湾運送	東北港運協会
地方公共団体	青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県、福島県、仙台市